

電波時計 取扱説明書

(掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

- お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。
- お読みになった後も、必ず保管して必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
<https://www.rhythm.co.jp>

もくじ

1. 安全にお使いいただくために、はじめにお読みください	3
2. 電波時計について	4
■ 電波時計とは	
■ 標準電波とは	
■ 電波の受信範囲について	
■ 標準電波の送信停止について	
■ 海外でのご使用について	
■ スリーウェイブとは	
■ AMラジオ放送の特長	
3. 各部の名称と役割	5
4. ご使用方法	6
(内蔵電池による時刻のバックアップ)	6
(受信の流れと受信表示ランプの見かた)	7
(AMラジオ放送について)	7
(電波を受信しにくい環境)	7
(時計の掛けかた)	8
5. オルゴールの使いかた	9
6. お手入れについて	10
7. 電波を受信できない場合	11
(手動での時刻合わせ)	
(静電気による誤作動について)	
8. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作	12
9. 表示用電池の交換について	13
10. 電池・製品の廃棄	13
11. おもな製品仕様	14
12. アフターサービスについて	15
(お問い合わせ先)	
保証書	裏表紙

1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○ 禁止(してはいけないこと)を示しています。

❗ 指示する行為を必ず守ることを示しています。



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容



誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。



梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。



電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。



注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容



電池の⊕⊖を正しく入れる

液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。



強い振動や衝撃を与えない

故障や破損の原因になります。



浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない

さびや故障の原因になります。



ぬれた手でさわらない

さびや故障の原因になります。



分解や改造をしない

けがや故障の原因になります。



下記のような場所では使わない

性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。 ● ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

2. 電波時計について

■ 電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

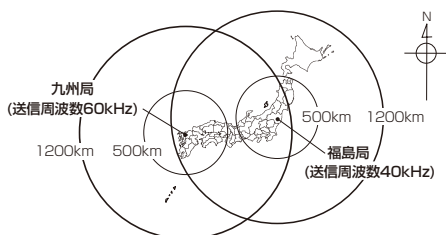
■ 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(<http://jjy.nict.go.jp>) ※アドレスは変更になる場合があります。

■ 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



福島局と九州局の標準電波を自動選択して受信します。

■ 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

■ 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。電波受信機能をOFFにして、手動で時刻を合わせてご使用ください。

■ スリーウェイとは

日本標準電波の40/60kHzにAMラジオ放送(時報)を加えた3つの電波で、時計の時刻を正確に保つための仕組みです。

■ AMラジオ放送の特長

日本各地に放送局があり、大きな出力で送信されております。標準電波が届きにくい所でも受信することが可能です。

AMラジオ放送に対応することにより、この時計をお使いいただける範囲が広がりました。

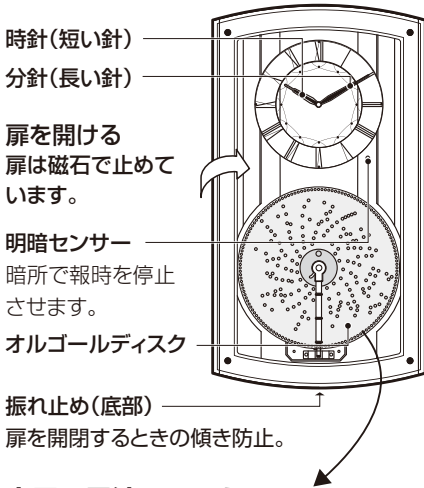
3. 各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

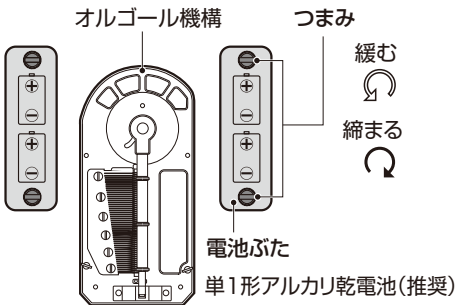
⚠ 警告 磁石を使用しています。磁気式カードや医療機器など磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データの消失、誤作動、故障の原因になります。ペースメーカーなどの医療機器の場合、人命にかかわる場合があります。

⚠ 注意

- 時針、分針には触れないでください。故障や時間違いの原因になります。
- 操作するときには手袋をして、ケガやさびの発生を防止してください。
- 時計を掛けるときなど、時計を傾けると扉が開くことがありますので、扉を手で押さえてください。
- 電池の⊕⊖を逆に入れると電池の発熱・破裂・液漏れの原因になります。



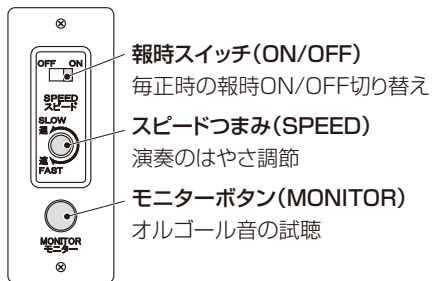
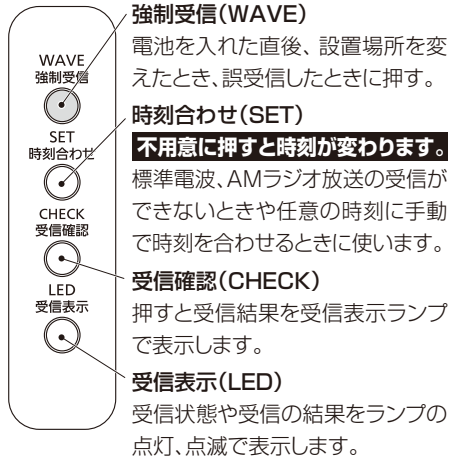
表示用電池の入れかた



電池を入れるときは、ディスクを取り外してください。

- ①電池ふたのつまみを左に回して取り外す
- ②電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて4個の電池を入れる
- ③電池ふたのつまみを右に回して取り付ける

操作部詳細 正面から見て右側面にあります。



4. ご使用方法 (電池のセットと時刻合わせ)

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**（手動での時刻合わせ）**(P.11)を参照してください。

◎この時計は時刻を合わせて出荷しています。表示用の電池を入れて強制受信ボタンを押してください。

⚡ 時刻合わせボタンを押さないでください。押すと時刻が変わってしまいます。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

◎AMラジオ放送—NHKラジオ第1がよく受信できる所に掛けてご使用ください。

① 表示用の電池を入れて強制受信ボタンを押す

※強制受信ボタンを押してからおよそ8分以内に時刻を表示します。時刻を表示する前に、12、4、8時のいずれかに一時停止します。

この時計は、正しい時刻に合わせるために、

- ① 福島局または九州局から送信されている標準電波の受信を試みます。
- ② ①が失敗したときには、AMラジオ放送(時報)の受信を試みます。

② **（時計の掛けかた）**(P.8)に従い、時計を確実に掛ける

③ 受信確認ボタンを押して受信結果を確認する

受信結果は、受信表示ランプで確認することができます。

強制受信ボタンを押して、16分以上経過してから確認してください。

5秒間点灯：標準電波の受信に成功

2秒間点灯：AMラジオ放送の受信に成功

1秒間隔で5回点滅：標準電波受信失敗、AMラジオ放送の受信を継続中

点灯時間が非常に短い点滅を5回：標準電波、AMラジオ放送ともに受信できない

1回点滅：電波受信機能OFF

☞ **（受信の流れと受信表示ランプの見かた）**(P.7)

☞ 「7. 電波を受信できない場合」(P.11)

※「5. オルゴールの使いかた」(P.9)に従って設定してからご使用ください。

内蔵電池による時刻のバックアップ

この時計は、時刻を合わせて出荷しております。内蔵電池により時を刻み続け、定期的な受信を試み、時刻を修正しています。

※表示用電池が消耗したときや取り外したときは、内蔵電池に切り替わります。

※内蔵電池のみでは、時刻表示や報時をしません。

※電波受信機能がOFFのときは、受信を行いません。

※表示用電池により時刻表示がされているときには、内蔵電池をしません。

受信の流れと受信表示ランプの見かた

時間の流れ

- ①表示用電池を入れて、強制受信ボタンを押す
およそ1秒間受信表示ランプが点灯して、針は12、4、8時のいずれかに一時停止してから、保持している時刻に早送りで移動を開始します
4回点滅: 福島局選択 **6回点滅**: 九州局選択 **消灯**: 福島・九州局ともに電波弱
- ②時刻情報の読み取り中 最長で16分程度
標準電波サーチ機能 受信表示ランプで状態表示
点灯: 電波良好(受信できる可能性大)
消灯: 電波の状態が悪い(受信できない)
ときどき点灯: 電波状態が不安定(受信の可能性小)
- ③標準電波の受信結果確認—受信確認ボタンを押す
5秒間点灯: 標準電波の受信に成功
2秒間点灯: AMラジオ放送の受信に成功
1秒間隔で5回点滅: 標準電波受信失敗、AMラジオ放送の受信を継続中
点灯時間が非常に短い点滅を5回: 標準電波、AMラジオ放送ともに受信できない
1回点滅: 電波受信機能OFF
※25時間以内の受信結果です。

AMラジオ放送について

- この説明書でのAMラジオ放送とは、AMラジオ放送で毎正時に流れる時報(ブツ、ブツ、ブツ、ポーン)のことです。
- AMラジオ放送の受信は標準電波が受信できないときに行います。受信状態になってから連続7日間受信できないときは、AMラジオ放送の受信を停止します。
- 受信しやすいAMラジオ放送局の順に受信を試みます。
- AMラジオ放送の受信回数は最少で1日1回、最多で1日6回です。
- 時計の時刻と正しい時刻との差が4分を超えているとAMラジオ放送の時報が受信できません。
- 標準電波の受信に成功するとAMラジオ放送の受信を停止します。強制受信ボタンを押すとAMラジオ放送受信停止が解除されます。

電波を受信しにくい環境

- 次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
 - 金属製の雨戸やブラインドの近く
 - ビルの地下および地下街
 - 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
 - 朝夕の時間帯、雨天のとき
 - 家電製品やOA機器の近く
 - スチール机等の金属製家具の上や近く
 - 窓のないデパートのフロア
 - 大規模オフィスの窓から遠く離れた所
 - 家電量販店などノイズが多い所

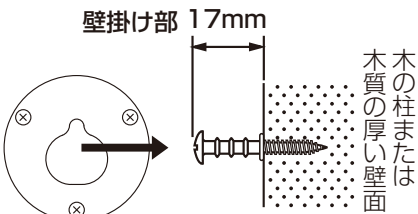
時計の掛けかた

注意 掛けかたが不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
- 掛け部以外のところに掛け具を掛けないでください。
- 時計を斜めにすると、扉が開くことがあります。時計を傾けるときは、手で扉を押さえてください。

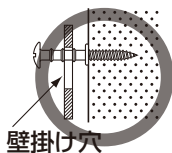
木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



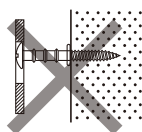
良い例

引っかかっている



悪い例

引っかかっていない

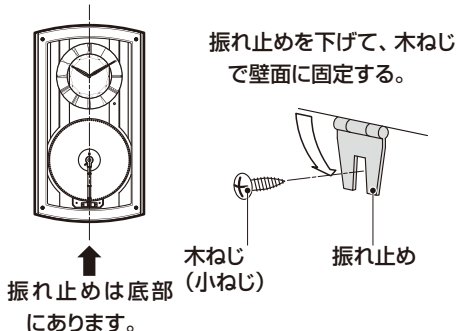


その他の壁面の場合

石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛けるときには、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

振れ止めを固定してください

扉を開閉するとき、時計が傾くのを防ぐため、時計を垂直に掛けて、時計底面の振れ止めを下図のように木ねじ(小ねじ)で固定してください。



5. オルゴールの使いかた

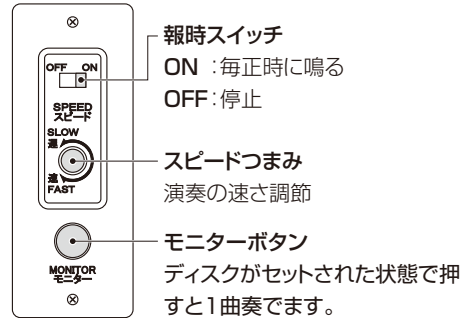
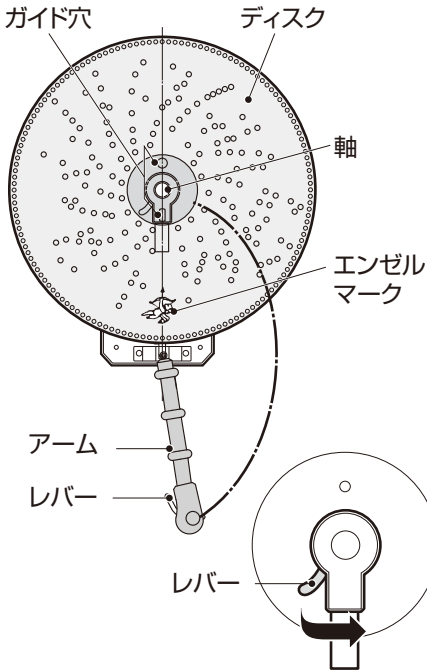
■ オルゴールディスクのセット

- ①オルゴール機構のレバーを押しながら、アームを持ち上げて外します。
- ②ディスクのエンゼルマークを下にして、オルゴールの軸に差し込みます。
- ③アームをオルゴールの軸に差し込みます。

アームがロックされるとカチッと音がします。音がしないときには、レバーを押しながらアームを持ち上げて外し、ディスクを入れ直してください。

※ディスクはアームをロックすると多少湾曲します。

※ディスクを取り外すときに、ディスクが落下することがありますので、必ずディスクを押さえながら、アームを持ち上げてください。



※報時スイッチが「ON」のときでも、明暗センサーが暗いと判別した場合、報時を停止させます。昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。

アームを開くときはレバーを押しながら操作してください。

■ ディスクご使用上の注意

- ディスクを正しくセットしてからご使用ください。
- 音量は調節できません。
- 演奏の途中で止めることはできません。

△ 注意 けがや故障の原因になりますので、次のことを守ってください。

- ディスクの外周部や凸部は尖っていますので、指でこすらないでください。
- ディスクを落とさないでください。
- 回転部分に布などを当てたまま回転させないでください。
- 回転しているときに顔や手を近づけないでください。

■ 演奏のはやさ調節

スピードつまみを回すと、1回転する時間をおよそ6～10秒調節出来ます。モニターボタンを押して演奏している間にお好みの速さに調節してください。

■ ディスクのお手入れ

- オルゴール演奏中に、ディスクが停止したり、回転ムラが発生したときは、付属のふき布でディスクの裏面（文字が印刷されていない面）に付いている油を、きれいにふき取ってからご使用ください。
- 使用したディスクは油が付着しているため、付属の布できれいにふき取ってから、収納してください。
- ディスクのお手入れに洗剤、溶剤などは使用しないでください。必ず、付属のふき布をご使用ください。

6. お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

7. 電波を受信できない場合

標準電波、AMラジオ放送ともに受信できない

設置した所で、NHKラジオ第1をAMラジオ受信機が明瞭に受信できるかを確認してください。

明瞭に受信できる場合

強制受信ボタンを押して2～3日後に受信結果を確認してください。

明瞭に受信できない場合

○AMラジオ放送を明瞭に受信できる所に時計を設置しなおして、強制受信ボタンを押してください。

○AMラジオ放送を明瞭に受信できない所でお使いになるときは、手動で時刻を合わせてお使いください。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

※AMラジオ放送は、時計の時刻が正しい時刻に対して4分以上の遅れまたは進みがあると受信できません。ベランダなど屋外で強制受信ボタンを押して標準電波の受信に成功させるか、ラジオや電話の時報サービスなどを利用して手動で時刻を合わせてください。

手動での時刻合わせ…受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

※電波が受信できないときの時間精度はクォーツ精度になります。

操作

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りします。

※秒は、時刻合わせボタンを離れたときにゼロ秒に設定されます。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

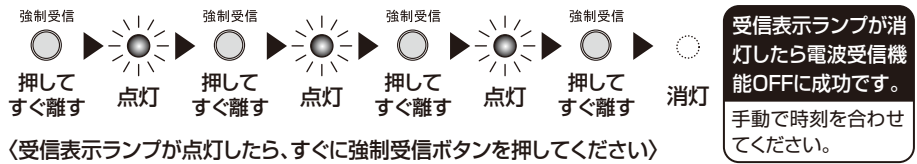
8. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクオーツ精度になります。

■ 電波受信機能をOFFにするには(標準電波を受信しない)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作をやり直してください。

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

※電池を取り出しても設定を長い時間保持しています。

■ 電波受信機能をONにするには(標準電波を受信する)

工場出荷するときは電波受信機能がONになっています。

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



9. 表示用電池の交換について

電池の交換時期になると電波の受信機能と報時機能が停止します。



注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

※報時機能を使用しないと電池寿命が長くなりますが、長期間使用すると電池からの液漏れが発生しやすくなりますので、定期的に交換してください。報時機能を使用しないときは、最長でも5年以内に交換してください。

※電池は、同じメーカーの同じ種類のものを使用することをお勧めいたします。

■ 電池の種類について

- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■ 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

10. 電池・製品の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

11. おもな製品仕様

時間精度	電波受信成功直後の表示精度 時針/分針 目盛りに対して±3度 電波を受信しないとき 平均月差±20秒(温度が5~35℃のときのクォーツ精度)
使用温度範囲	-10 ~ 50℃ *結露しないこと
推奨電池	表示用:単1形アルカリ乾電池 JIS規格LR20 4個 内蔵:コイン形リチウム電池 CR2032 1個
電池寿命	表示用:約1年 標準電波の受信に成功して、報時を17回/日行ったとき 内蔵:工場出荷時より5年以上(交換不要)

標準電波	標準電波を受信して時刻を修正
受信局	福島局/九州局 自動選択
受信回数	最少 1回/日、最多 6回/日 2時、3時、4時、12時、13時、14時の16分20秒に開始
サーチ機能	受信局、電波の強弱表示

AMラジオ放送	毎正時の時報放送を受信して時刻を修正
受信周波数帯	531~1584kHz
受信時刻	0時、1時、2時、5時、6時、23時(時刻の約4分前から開始)
受信回数	最少 1回/日 最多 6回/日
受信期間	AMラジオ放送の受信を開始してから約7日間受信できないときは受信を停止
受信機能ON/OFF	ボタン操作
手動時刻合わせ	ボタン操作

報時機能	27cmディスクオルゴール 毎正時に1曲奏でる
報時精度	表示時刻に対して±1秒*
演奏スピード	ロータリー式ポリリウム
報時切替	ON/OFF切り替え
試聴機能	あり
暗所鳴り止め	明暗センサーと連動して暗くなると報時停止

- *駆動用のモーターが回転を開始するタイミングです。実際に曲を奏でるタイミングではありません。
- *付属の乾電池(マンガンまたはアルカリ)は、動作確認のためのお試し用です。工場出荷時に同梱しますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。使用する電池は、お試用電池の種類に関わらず、「おもな製品仕様」に記載の推奨電池をお求めください。
- *表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
- *製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

12. アフターサービスについて

時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

ご使用方法やアフターサービスについてのご相談は、お客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。

例 4MN○○○、4MNA○○、8MN○○○、8MNA○○、

(フリーダイヤル)

お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

付属品 お試用電池 4個、木ねじ(大) 1個、木ねじ(小) 1個、ディスク 6枚、
手袋 1セット、ふき布 1枚、取扱説明書・保証書 本書

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますので、ご了承ください。

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。

必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 氏名 様

ご住所

TEL() -

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※印は販売店記入

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について ※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
8. 電池の交換